

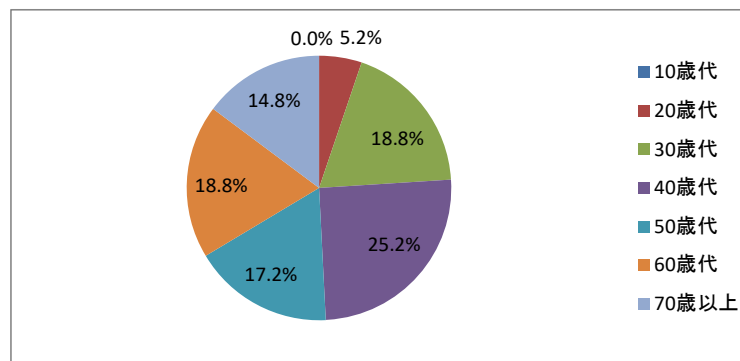
第9回 金沢の工芸に関するアンケート

【アンケート実施期間】 令和元年12月9日～令和元年12月23日

【アンケートの目的】 金沢の工芸に対する関心、使用状況等について、市民の皆様のご意見等をお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。

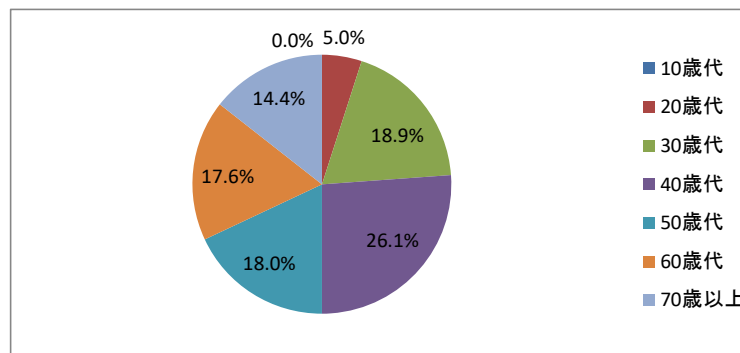
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	13	5.2
30歳代	47	18.8
40歳代	63	25.2
50歳代	43	17.2
60歳代	47	18.8
70歳以上	37	14.8
計	250	100.0



【回答者数】 222 名

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	11	5.0
30歳代	42	18.9
40歳代	58	26.1
50歳代	40	18.0
60歳代	39	17.6
70歳以上	32	14.4
計	222	100.0

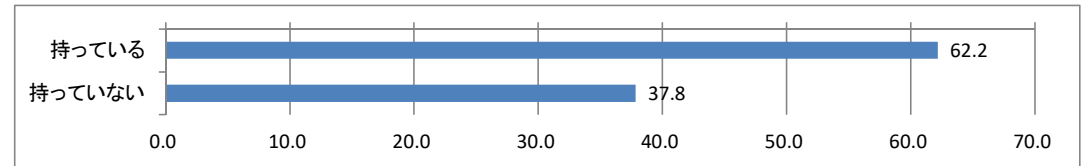


【回答率】 88.8 %

問1 金沢の工芸品をお持ちですか

(n= 222)

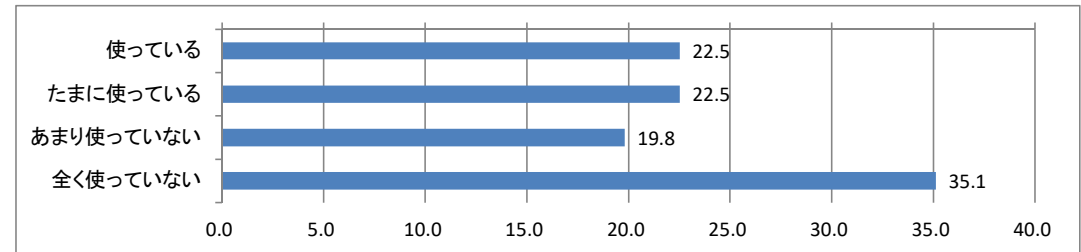
回答	人数	%
持っている	138	62.2
持っていない	84	37.8



問2 日頃から金沢の工芸品を使っていますか

(n= 222)

回答	人数	%
使っている	50	22.5
たまに使っている	50	22.5
あまり使っていない	44	19.8
全く使っていない	78	35.1

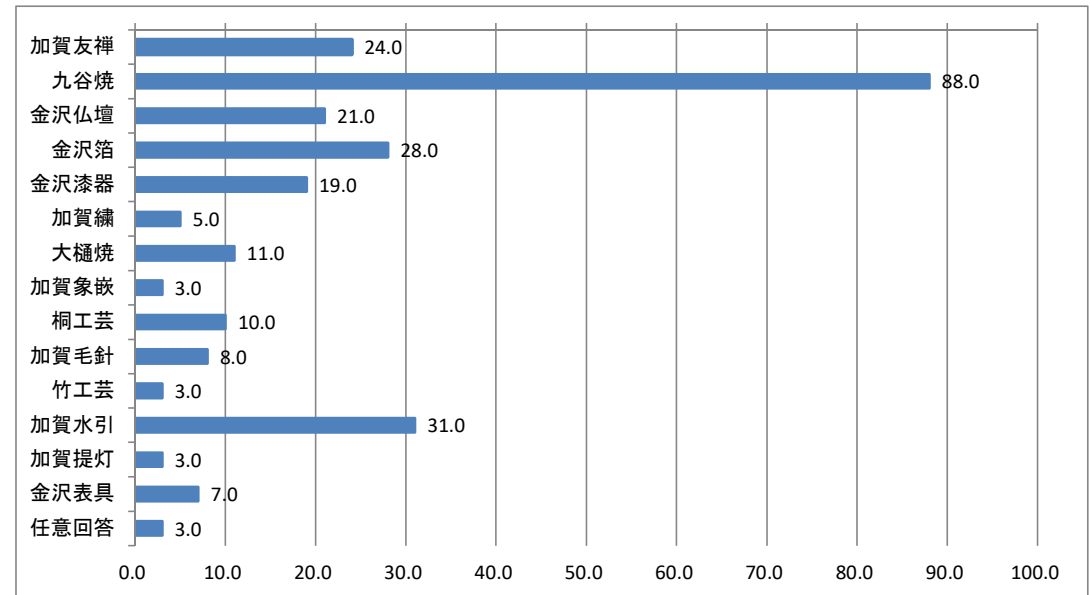


問3 (問2で「使っている」「たまに使っている」と答えた人) 日頃使っている金沢の工芸品はどれですか (複数選択可)

(n= 100)

回答	人数	%
加賀友禅	24	24.0
九谷焼	88	88.0
金沢仏壇	21	21.0
金沢箔	28	28.0
金沢漆器	19	19.0
加賀繡	5	5.0
大樋焼	11	11.0
加賀象嵌	3	3.0
桐工芸	10	10.0
加賀毛針	8	8.0
竹工芸	3	3.0
加賀水引	31	31.0
加賀提灯	3	3.0
金沢表具	7	7.0
任意回答	3	3.0

※任意回答
 ・ ガラス 1件
 ・ 金工 1件
 ・ 郷土玩具 1件



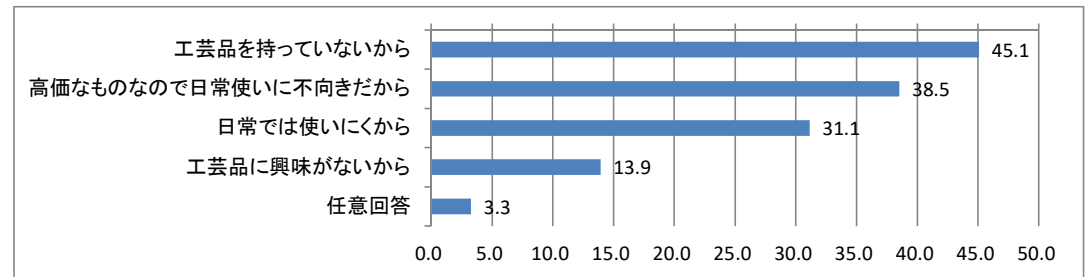
問4 (問2で「あまり使っていない」「全く使っていない」と答えた人) 金沢の工芸品を使わない理由は何ですか (複数選択可)
(n= 122)

回答	人数	%
工芸品を持っていないから	55	45.1
高価なものなので日常使いに不向き	47	38.5
日常では使いにくから	38	31.1
工芸品に興味がないから	17	13.9
任意回答	4	3.3

※未回答 5件

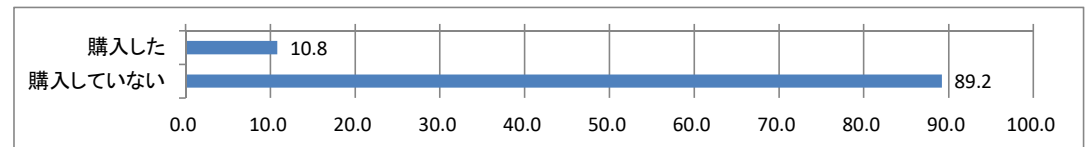
※任意回答

- ・欲しいものが高価なものなので自分で買えない
- ・もう、アユ釣りをしない (加賀毛針)
- ・花嫁のれんなので日常使いしていない
- ・特に工芸品だからといって興味がないので



問5 この1年間に自分用に金沢の工芸品を購入しましたか
(n= 222)

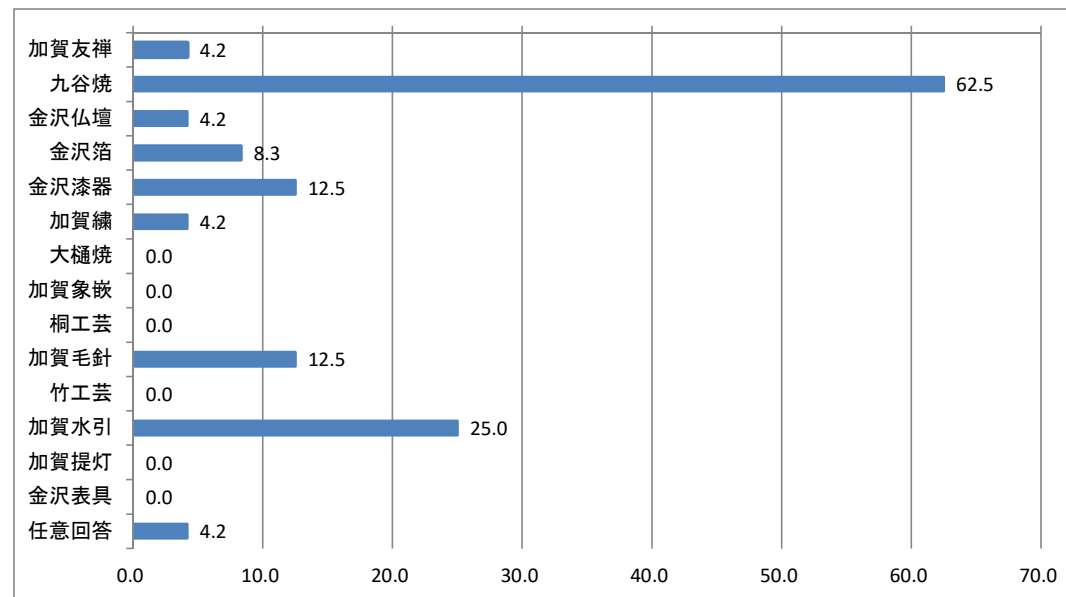
回答	人数	%
購入した	24	10.8
購入していない	198	89.2



問6 (問5で「購入した」と答えた人) 購入した金沢の工芸品はどれですか (複数選択可)
(n= 24)

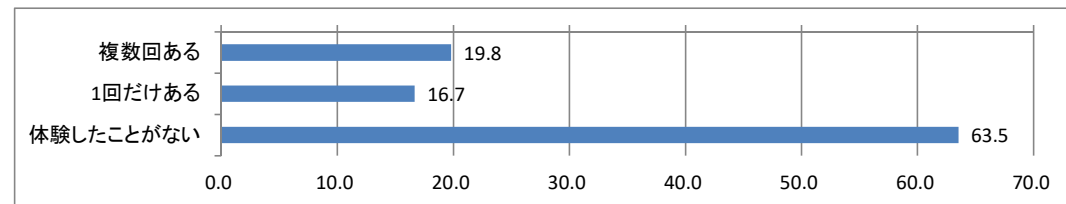
回答	人数	%
加賀友禅	1	4.2
九谷焼	15	62.5
金沢仏壇	1	4.2
金沢箔	2	8.3
金沢漆器	3	12.5
加賀繡	1	4.2
大樋焼	0	0.0
加賀象嵌	0	0.0
桐工芸	0	0.0
加賀毛針	3	12.5
竹工芸	0	0.0
加賀水引	6	25.0
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
任意回答	1	4.2

※任意回答
・金工 1件



問7 金沢の工芸品を制作する体験をしたことはありますか
(n= 222)

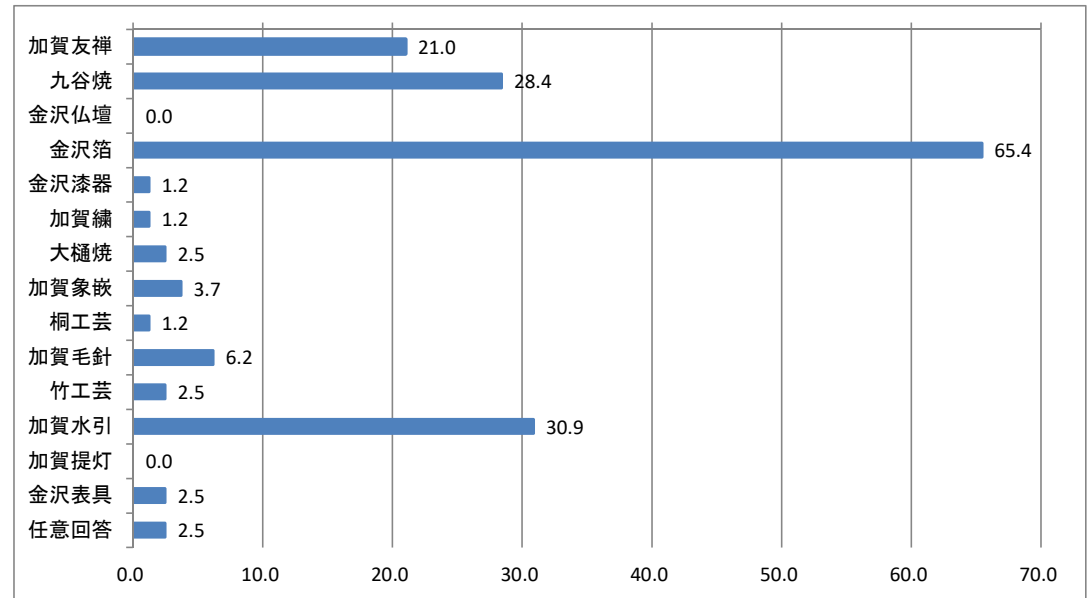
回答	人数	%
複数回ある	44	19.8
1回だけある	37	16.7
体験したことがない	141	63.5



問8 (問7で「複数回ある」「1回だけある」と答えた人) どの分野の工芸体験をしましたか(複数選択可)
(n= 81)

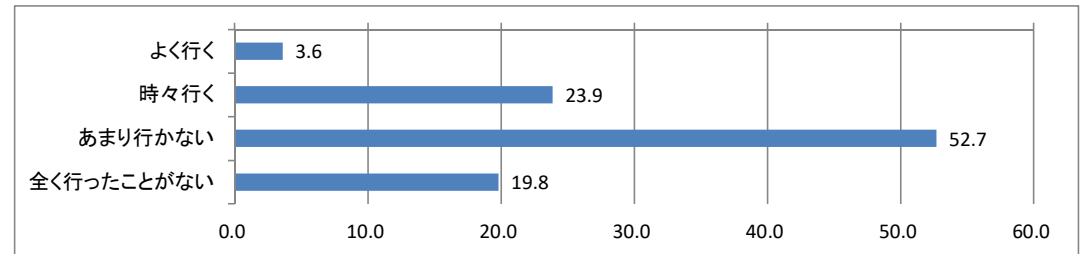
回答	人数	%
加賀友禅	17	21.0
九谷焼	23	28.4
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	53	65.4
金沢漆器	1	1.2
加賀繡	1	1.2
大樋焼	2	2.5
加賀象嵌	3	3.7
桐工芸	1	1.2
加賀毛針	5	6.2
竹工芸	2	2.5
加賀水引	25	30.9
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	2	2.5
任意回答	2	2.5

※任意回答
・郷土玩具 2件



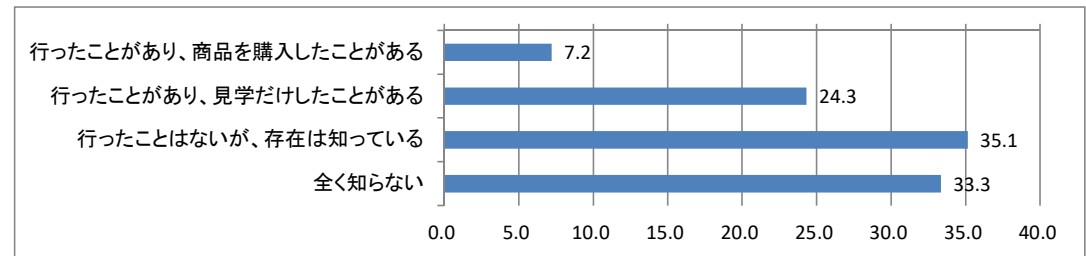
問9 ギャラリーなど工芸品を取り扱うお店に行くことはありますか
(n= 222)

回答	人数	%
よく行く	8	3.6
時々行く	53	23.9
あまり行かない	117	52.7
全く行ったことがない	44	19.8



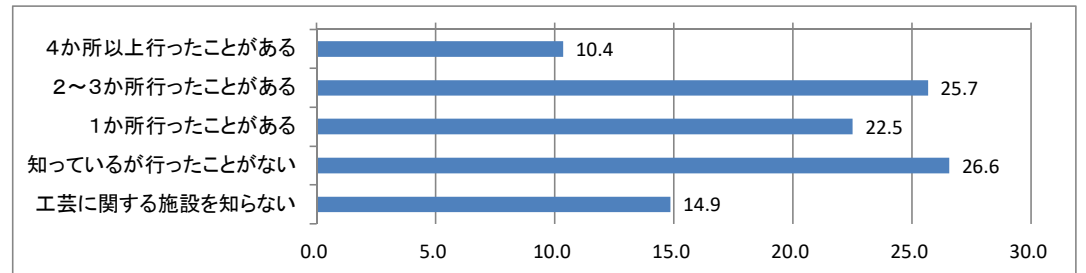
問10 金沢・クラフト広坂に行ったことはありますか
(n= 222)

回答	人数	%
行ったことがあります、商品を購入したことがある	16	7.2
行ったことがあります、見学だけしたことがある	54	24.3
行ったことはないが、存在は知っている	78	35.1
全く知らない	74	33.3



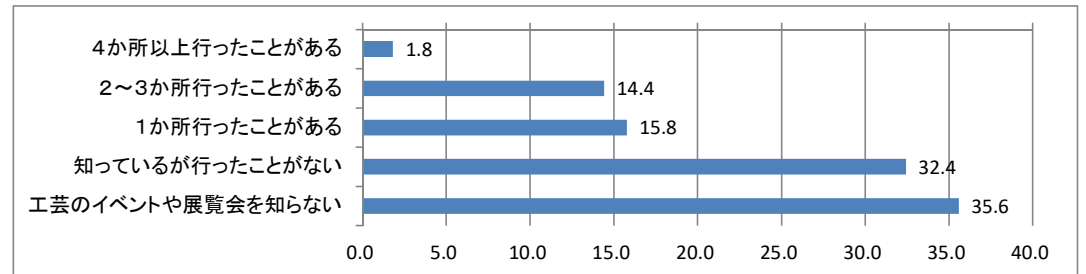
問11 工芸に関する施設（県立伝統産業工芸館、安江金箔工芸館、中村記念美術館、加賀友禅会館など）に行ったことはありますか
(n= 222)

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	23	10.4
2～3か所行ったことがある	57	25.7
1か所行ったことがある	50	22.5
知っているが行ったことがない	59	26.6
工芸に関する施設を知らない	33	14.9



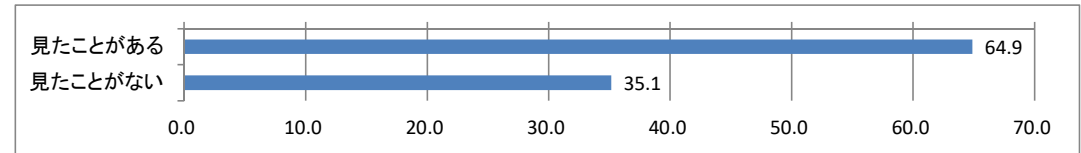
問12 金沢市内で開催されている工芸のイベントや展覧会（KOGEIフェスタ！、金沢21世紀工芸祭、KOGEI Art Fair Kanazawa、金沢市工芸展など）に行ったことはありますか
(n= 222)

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	4	1.8
2～3か所行ったことがある	32	14.4
1か所行ったことがある	35	15.8
知っているが行ったことがない	72	32.4
工芸のイベントや展覧会を知らない	79	35.6



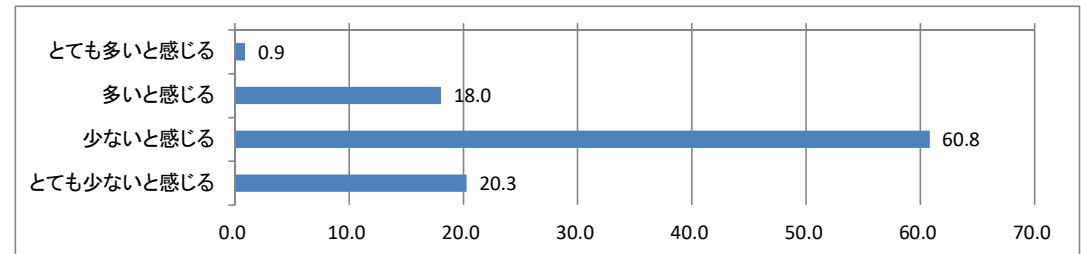
問13 金沢市内の飲食店等で金沢の工芸品が使われているところを見たことがありますか
(n= 222)

回答	人数	%
見たことがある	144	64.9
見たことがない	78	35.1



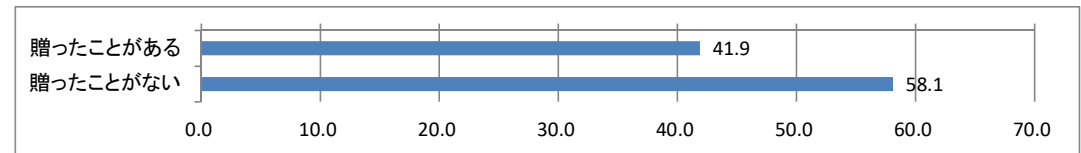
問14 子どもが工芸に触れる機会が多いと思いますか
(n= 222)

回答	人数	%
とても多いと感じる	2	0.9
多いと感じる	40	18.0
少ないと感じる	135	60.8
とても少ないと感じる	45	20.3



問15 家族や友人などのプレゼントとして工芸品を贈ったことがありますか
(n= 222)

回答	人数	%
贈ったことがある	93	41.9
贈ったことがない	129	58.1



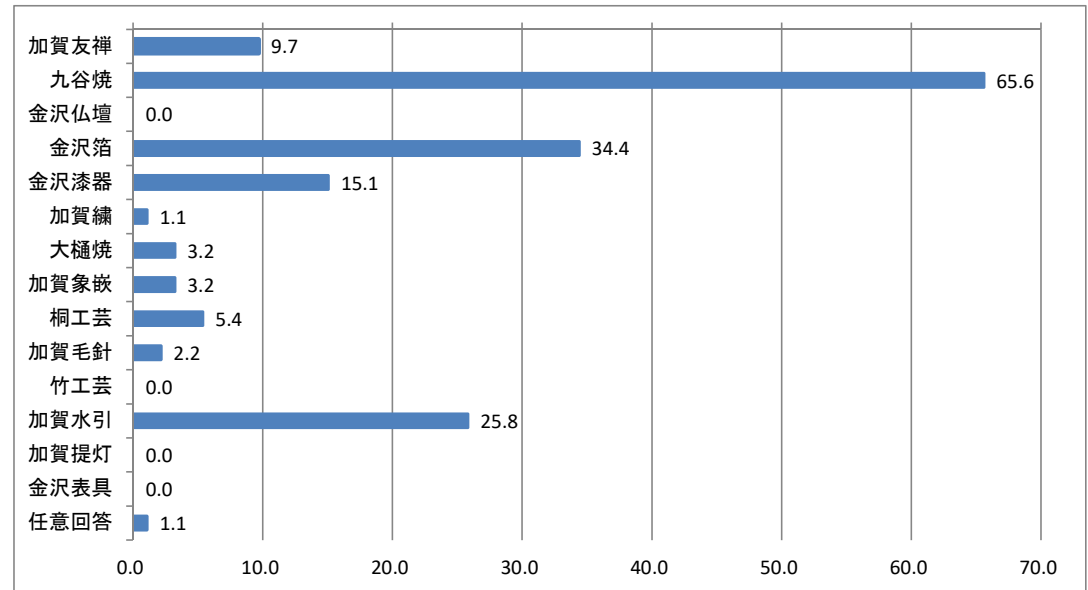
問16 (問15で「贈った」と回答された方) プレゼントした工芸品はどれですか (複数選択可)

(n= 93)

回答	人数	%
加賀友禅	9	9.7
九谷焼	61	65.6
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	32	34.4
金沢漆器	14	15.1
加賀繡	1	1.1
大樋焼	3	3.2
加賀象嵌	3	3.2
桐工芸	5	5.4
加賀毛針	2	2.2
竹工芸	0	0.0
加賀水引	24	25.8
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
任意回答	1	1.1

※未回答 1件

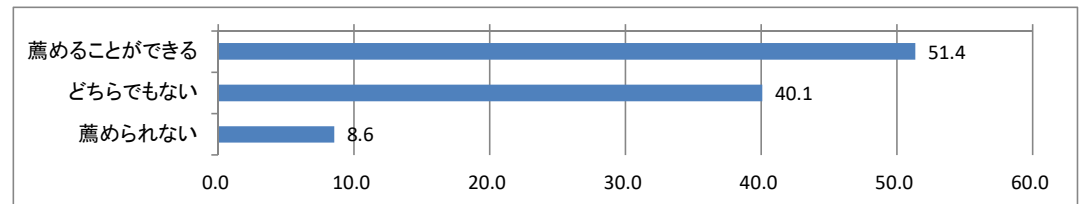
※任意回答
・手まり 1件



問17 市外の人に、金沢の工芸品の購入をすすめることはできますか

(n= 222)

回答	人数	%
薦めることができる	114	51.4
どちらでもない	89	40.1
薦められない	19	8.6



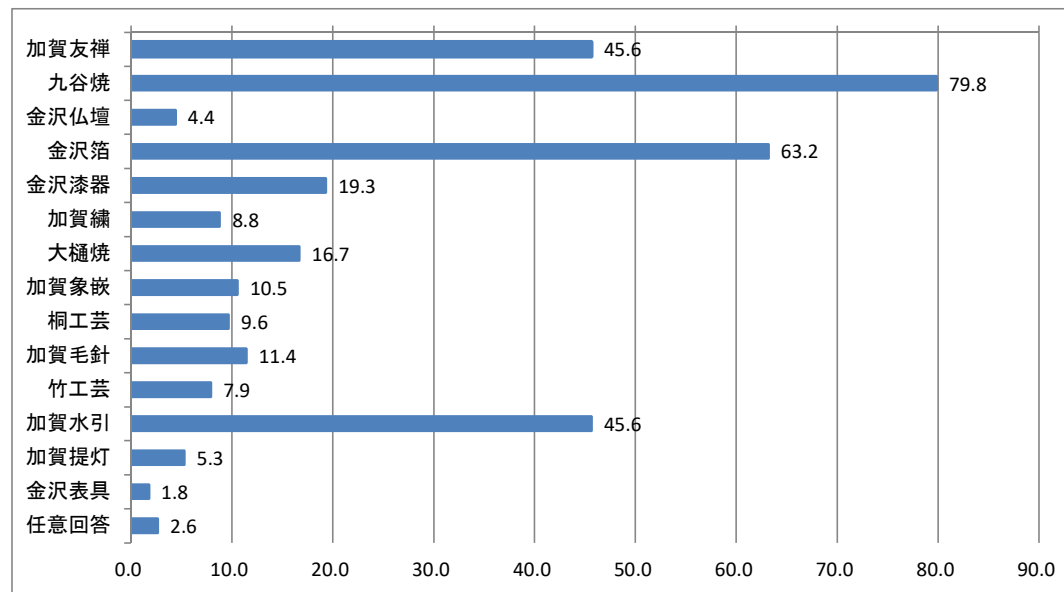
問18 (問17で「すすめることができる」と回答された方) 市外の人に購入をすすめたい工芸はどれですか(複数選択可)

(n=114)

回答	人数	%
加賀友禅	52	45.6
九谷焼	91	79.8
金沢仏壇	5	4.4
金沢箔	72	63.2
金沢漆器	22	19.3
加賀繡	10	8.8
大樋焼	19	16.7
加賀象嵌	12	10.5
桐工芸	11	9.6
加賀毛針	13	11.4
竹工芸	9	7.9
加賀水引	52	45.6
加賀提灯	6	5.3
金沢表具	2	1.8
任意回答	3	2.6

※任意回答

- ・郷土玩具 1件
- ・金沢和傘 1件
- ・手まり 1件



問19 金沢の工芸について、ご意見等ありましたらご自由に記入してください

普段使いできるような、手頃な大きさ・金額の工芸品が多くのある場所だと良いと思います。

九谷焼なら身近に感じるが、他は値段が高そうであり手が出ない。

何が金沢の工芸なのかという知識がないことがわかった。

水引、毛針などアクセサリにアレンジされていてとても素敵でした！

金沢市民にとって、金沢の伝統工芸は遠い存在だと思う。また生活にはほとんど必要がないからと思える。自身も有名な先生の九谷焼陶器をもっているが、持ってるだけで、時々出して愛でるわけでもないし。やはり自身の生活に余裕がないのか、生活に身近なものでもないし。

工芸品は見たことがあるけど、、、どれが金沢のものなのかかわからない。お土産屋さん置いてあるイメージ。

これからの若い世代にもずっと残していかなければならない伝統だと思う。贈答用としても重宝しています。もっともっと小さい子でも参加しやすい体験型イベントなどがあれば是非参加したい。

子どもが伝統工芸品に触れ合う機会があるイベントがよく催されているので、参加してみたいと思います。

石川に住んでいるので、金沢の工芸をはじめ輪島塗や九谷焼など工芸文化に恵まれてはいるものの、実生活においては全く触れる機会がありませんでした。実際に飲食店で使われているという設問がありましたが、そういう事も全く知りませんでしたので、異業種とのコラボであったり、雑貨屋さんで置いてもらえるようになると、もっと知ってもらえる機会が増えるかもしれません。

昔からの伝統工芸品として発展してきた商品であります。伝統技術を継承しながら、今に至っております。大切にして後世に残し行くべきです。若い年齢のアイデアも取り入れてゆくべきです。

来年開館する工芸館で金沢の一級の工芸品を見たい。
どことなく贈答品、慶用品というイメージがあり、日々の生活から離れている感じがする。逆に、贈答には高級感があり、良い。反面、贈答以外には思いつかないほど普段は買わない。高度職人の育成の一方で、アマ職人のような理解のあるサポーター層の育成が急務なのではなかろうか。
工芸品のイメージは高価な一点ものからお土産品のような軽いもの(安価)に分かれるか、日常的に使われないものやマニアックなものなど身近に感じられない品が多いと思われる。こうした領域を抜けた新しいジャンルの開拓が必要だと思う。
今回のアンケートで工芸品と聞かれても、全くと言っていいほど、知らないのはどうなのかな?と考えさせられました。興味があるんじゃないばかりではなく、日々の生活に必需品ですらなく、接する機会が少ないというのも理由の一つだと思いましたがどうなのでしょう。
手軽に購入できる金額の工芸品を販売するイベントなどを実施して頂きたいです。
もっとPRに力を入れて欲しいと思っています。
若い作家さんの作品を見て「こんなのもありか」と驚かされることがあります。伝統にとらわれず、でも伝統を大事にして若い方の感性を生かして、普段使いのできるものが増えたらいいなと思います。
若い方には、あまりなじみがないようですが、最近、水引を使ったアクセサリなどが良く出ていますので、そのように安価で手軽に身に付けられる実用的なものを、もっと宣伝したら、良いと思う。
日常生活に使える手頃な値段の品物があれば使ってみたいです。
日常生活で使えるものももっとあればいいですね…特に子供用の食器なんか…あんまり商売にならないかもしれませんが。
高く買えない。
高価なのであまり縁がない。
茶道具はいいものが沢山あります。特に個人的には、大樋焼きは気に入っております。お茶のお友達には進めております。金沢箔は文箱など手ごろな価格のもの等、薦めやすいと思います。ただ加賀友禅は高価なので中々薦めづらいところもあります。まず、ゆっくりと見ていただくのが一番かと思います。良さは慌てずゆっくりと浸透すれば良いと考えます。
秋の工芸フェスタなど身近に伝統工芸を体験できるイベントがあり、毎年楽しみにしている。今後も老若男女楽しめるイベントを企画してほしい。
輪島塗と加賀毛針はいいと思いい興味が少しだけあります。
何が金沢の工芸に該当するか知らない人が多い印象。もっと周知する方法が必要だと思う。
新しい工芸館と金沢市は何かの形で関われば良いと思います。
工芸品は良いと思いますが、普段使いをするには高額だと思う。
工芸品は金沢以外の地域、他県でも決して安価ではないけど、九谷焼ならば案外手ごろな価格のお茶碗等が販売されている機会があるので贈答としても購入し易いと感じる。
金沢市民でも敷居が高く、対応する人も見下げた感じが悪印象です。
値段が高くてなかなか手が出ません。好きなのですが……。金沢に住んでいて申し訳ないと思っています。
子供が学校のお知らせで体験のプリントを持って帰ってくるが、興味が無いようで参加したことはない。友人はよく子供を連れてゆのくにの森に体験をしに行っているらしいが、金沢ではあまり行かないらしい。市内で車で行きやすい場所での体験を開催してほしいです。
工芸は知らないことが多い。金沢の工芸は、全国的に観て、どのような特徴があるのかをもっと、PRして欲しい!
金沢の工芸自体値段が高いので購入しにくい。県外出身者ですが、金沢の工芸自体あまり見ることはありません。京都であれば京都の工芸などあちこちの店で見える機会も多いし、値段も手頃な物が多く、値段も安いので買いやすい。
魅力的な工芸品は多いが、高価なこともあり、身近に感じられない。もっと自由に触れ合える場所が欲しい。
水引は若い人や子供達にも簡単に出来るものもあり、学校や色々なイベントで体験する機会があればよいのではないかと思います。
気付かないで触れていると思う工芸品と日常的に使う品物との違いがよくわからない。
手にとりやすい価格のものが増えれば、もっと浸透すると思います。
施設等はあっても、なかなか出向かないことが多い。理由としては自身が興味がないということが一番だと考えるが、子供達の必要知識として学びの観点から訪れてみたいと思う。

<p>伝統工芸館も完成したことにより、金沢の工芸についても多くの国民から関心を持たれると思う。その場合まず金沢市民の工芸に関する更なる理解と知識を持てる機会が必要と思われる。広報を通じてや、ホームページやSNSから発信することももっとあって良いのではないかと思う。</p>
<p>趣味の世界に入りそうな品々で高額なイメージがある。日々、使用できる品が少ないと思われるので展示会等になかなか足を運べない。</p>
<p>金沢の工芸品が沢山ありますが手軽に日常品として使用できる商品をどんどん開発してほしい。</p>
<p>小学生の息子が学校で金沢漆器や九谷焼について調べたり学んだりしていて、子供の頃から触れられるのはいいなと感じています。</p>
<p>高価で普段使いしにくいものというイメージがある。手頃で気軽に使えるものを広めて、本物に触れる機会が増えたらいいと思う。</p>
<p>大変素晴らしいものばかりで、ぜひ今後とも広く周知させていただきたいと思います。祖父母より両親へそして私の代に譲りうけた器を、平生またはハレの日に使用することで、これからも息子に良さを伝えてゆきたいと思っております。ただ所有している数枚の加賀友禅の着物は、娘がいないため引き継げず非常に寂しく感じています。</p>
<p>金沢の工芸を全世界に情報発信。</p>
<p>金沢の工芸がこれほどの種類あることを知りませんでした。過度なアピールは不要かと思いますが、廃れさせない程度の伝統の継承は必要かと思います。</p>
<p>もともと金沢出身ではなかったのですが、実際には手に取って観賞したり、使用したことはほとんどありません。これを機に工芸品に興味もってみようと思います。展示場の案内などもっとあればいいかなと思います。</p>
<p>もっと日常生活の中で使用可能なもの(値段も含め)であれば、身近に感じられるが、遠くから眺めるだけのものという感じがします。工芸と民芸の境はどこでしょうか？</p>
<p>落ち着いた子供をつれて工芸フェアには行く気になれませんでした。</p>
<p>手軽な地元工芸として、九谷焼のご飯のお茶碗や小皿を使っている。今の九谷焼は、デザインもとてもかわいく、日常で使いやすい。昔ながらのものしか認めない！という考えもあるだろうが、生活に馴染んでこそその地元工芸なので、若い作家さん、もっと新しい風を吹かせてほしいです。</p>
<p>金沢21世紀美術館にも、工芸品が展示されていてよかった。</p>
<p>壺は見ていたら綺麗だと思うが、興味はない。</p>
<p>国立工芸館が開館するのを期待している。又、金沢21世紀美術館でも現代工芸の展示をすべきである。</p>
<p>工芸品というと高価で敷居が高いイメージがありますが、普段使いできるようなものや触れる機会があることを今回のアンケートを通じて知ることができました。今後は機会があれば是非いろいろなイベントや工芸館に足を運んでみたいです。告知方法など工夫していただくと有難いです。</p>
<p>加賀百万石の伝統があるのかバカ高い物が多い。芸術品か土産品か分けて考えた方がよい。</p>
<p>金沢の工芸品に触れる機会はこれまで少なかったのですが、素晴らしい文化ですので、これからは意識して触れていきたいと思えます。</p>
<p>金沢の工芸はあまり身近なものではないので普通に金沢で暮らして接する機会がない。子供達は学校で金箔体験などしたりしているので機会はあるが、もう少し身近に感じる事ができれば、もっと金沢のことが知れるのかもしれない。</p>
<p>色々な分野に発信、コラボし若者を取り込み、技術を引き継ぐ職人不足を解消し金沢の工芸を盛り上げて行ってほしい。</p>
<p>私自身も金沢の工芸についてあまり知識がないので、もっと身近なものとして、見聞を広めたいと今回のアンケートで思いました。</p>
<p>工芸品にはとても興味があり、祖父母の時からある物も出来る限り日々の生活で使って楽しんでいます。近年、若い方のデザインが面白く見ているだけで楽しいです。企業のCMで象嵌を現代風感覚で生き物を表現するのは発展的な楽しさを感じます。工芸品は高級な物は後世に残ります。また、安価な物は子供達に楽しんで貰いたい。</p>
<p>九谷焼は、能美市や寺井のイメージがあり、金沢市の工芸品と言っているのか、分からない。</p>
<p>金箔のコーヒーはお土産にとっても喜ばれる手軽かつ高級な感じのものはあげやすい、買いやすい。</p>
<p>もっと、手軽に、買える物が、有ればいい。</p>
<p>普段の生活の中では仏壇ぐらいいし必要ないのでとりたてて金沢の工芸品に触れる機会はありません。</p>
<p>金沢の工芸品は格式の高さが売りだと思う。日常使いに走るのはどうか？九谷焼は金沢？寺井のイメージが強いが、金沢箔のPRは目にするが、それ以外は？展覧会じゃ興味のある一部の方だけ。一般の人たちが興味を持つよう努めるべきでは。このままでは消える。</p>
<p>金沢の工芸を使用してる飲食店に金沢工芸の使用表示してアピールした方がよいと思います。</p>
<p>もっとカジュアルな形にして、市内の人の目に着く所に展示しては、どうですか！</p>

<p>私自身伝統工芸に指定される技術を身につけているが、若い人への工芸の奨励はもはや時代遅れだと思う。急激な時代の変化の中、工芸でしか食べていけない人たちがいた頃には多少の支援をする必要もあったが、いつまでも支援し続ける必要はない。趣味の世界ではアリかもしれないが、産業としてはナシだと思う。美大の専攻にしても、それで食べていく道があると若い人を誤解させるので今後縮小が必要だと思う。</p>
<p>金沢(石川)の工芸は観光都市を標榜する金沢の目玉の一つ。今より更にレベルアップしたPRが必要と考えます。例えば金沢駅新幹線ホームにはほんのささやかな伝統工芸品の展示コーナーがあります。しかしこれに足を止める人はほぼ皆無?私も気に掛けたことはありますがいつの間にか通り過ぎていきます。鑑賞、体験、購入など魅力ある方法で多くの人に知ってもらう方を考えるべきだと思います。</p>
<p>「九谷焼」は金沢の工芸品といえるのでしょうか。また、金沢漆器とは何でしょうか。輪島塗や山中漆器は知っていますが、このアンケートの「金沢の工芸品」とは具体的に何を指すのか、伝統工芸品だけなのか新進作家の現代工芸品も含めるのか、範囲が不明なので非常に回答しにくいアンケートでした。何で「石川県の工芸品」を対象にせず、「金沢の」にこだわるのかがわかりません。意味のないアンケートに思われました。</p>
<p>アンケートの設問ではじめてこんなに金沢の工芸品とされるものがあることを知った。生活に取り入れられるものから、お気に入りを見つけて取り入れてみたいと思った。</p>
<p>最近、多方面とのコラボ商品が多くなってきて、デザイン性もあり取り入れやすくなってきている。小学生対象の体験も多く、早くから工芸品に親しめる。</p>
<p>これからも市民や旅行者が気軽に立ち寄って体験できる催しを続けてほしいです。</p>
<p>値段が高価なイメージでどこで購入するのかわからない。日常で使いづらい雰囲気がある。品物が良いのは何となくわかりますが、購入してまでとなるとコストパフォーマンスを考えるとハードルが高い。</p>
<p>#クラフト協会およびそのメンバーに対する市政のバックアップを。#卯辰山工芸工房の常時見学開放を。#カフェにおける工芸品の使用奨励を。#ひがし茶屋街を参考に。金箔など。#和服のリメイク講座、ワークショップを。#浅野川友禅まつり、友禅流しの催行を。#中村記念館のように、いつでも、安くお茶をいただける機会、場所の提供を。{市庁舎内、図書館など}</p>
<p>あまり日常生活では馴染みがないですが、気軽に体験できるイベントを通じて身近なものにしていけたらなと思います。九谷焼は食器など日常でも取り入れやすいので、低価格のものがあれば使いやすいなと思います。</p>
<p>九谷焼は好きですが、九谷工芸村は遠くて車が無いと気軽に行けません。どこか駅の近くか街中に、工芸村のアンテナショップがあれば、もっと購入の機会が増えると思います。</p>
<p>九谷焼のお茶碗を持っていますが、とても使い心地がいいです。ほかの工芸品はあまり生活に密着していないので機会があれば実際に見てみたいです。</p>
<p>素晴らしい物も多くて伝統が受け継がれていることに尊敬いたします。実用的かと言われると正直最近のライフスタイルとの融合が難しいのかなと感じます。特に手入れや価格の部分で日常使いしづらい感があります。</p>
<p>最近九谷シールなど親しみやすい工芸絡みの品物があったりして、以前よりは親しみやすいと思う。</p>
<p>学校で子供たちが伝統工芸を体験できる機会が増えるといいなと思います。</p>
<p>価格が高くて使いづらいイメージがあるので普段使いできる九谷焼等増えるといいと思います。仏壇や水引等日常生活で必要のない物ばかりです。一度購入すると一生物なので身近ではないですね。</p>
<p>高いイメージなので、手頃なものでインスタ映えするものを作ってみたらどうかと思います。</p>
<p>全般的に高級なイメージがあり身近に感じない。</p>
<p>九谷焼の五彩が大好きです。色彩に魅了されます。</p>
<p>県外から来た私には、何が金沢の工芸なのかピンと来ていない。色々な場所で見ると加賀野菜のPRポスターの様に、もっと工芸文化のPRをしてはどうか。正直、アンケートに答えた今でも未だに金箔しか思い浮かばない。他を知らない。</p>
<p>学校の授業ではあるようですが大人はあまり知らない方が多いと感じます。地方からでてきているので。</p>
<p>金沢の人は、工芸がたくさんあり、すばらしいのもの知ってるが、宣伝下手なんだと思う。</p>
<p>工芸品は日常使いするには高価なものが多いと思う。</p>
<p>普段、使用する機会がないのが実状である。なるべく使用するようにしたい。</p>
<p>もっと身近に感じたいですが敷居が高い気がします。</p>
<p>観光客でないとなかなか体験する、見学する機会がない様なイメージがあります。</p>

お値段が、お安くなれば手に取る回数も増えるのかな？と思います。九谷茶碗祭りも値段高かったなー。
市民などが工芸品に接触する機会などがあまりに少ない。また小中学校で石川県の伝統や技術に触れる機会が欲しい。
小学校や中学校の美術の時間に九谷焼や加賀友禅の絵付け体験があったら良かったと今になって思います。
敷居が高く観賞用には素晴らしいものが多いが普段使いできるものが少ない。手頃を買って日常的に楽しめるものがあると生活が豊かになると思います。ヨーロッパに行くとアンティーク市があちこちで開かれていて良く行くけれど金沢には無いのは寂しい。工芸品に触れる機会がたくさんあればと思います。
伝統があり、素晴らしい工芸品です、県外の知人に勧めたいと思います。
外国人に加賀水引等簡単に出来るものを、体験出来る場所をボランティア活動で提供して喜ばれています。
技術の粋であり美術品としての価値にその特徴があると感じるとともに、金沢のまちの歴史や文化の発展そのものと深く繋がっていることを今さらながらに再認識しています。多くの来街者にそのことを伝えていくことが大切だと思います。
九谷焼は、素敵だと思うので、買ってみたいです！
金沢の工芸品は高価なイメージがあって、実際値が張るものも多いと思いますが、最近では手ごろな価格でお土産とか売ってたりするので、いい傾向だと思います。私は着物を扱う仕事をしているので、加賀友禅などの商品で手ごろな小物などが増えてくれたらいいな、みなさんの手に取ってもらえる機会も増えるのではないかと思います。
日常的に使用できる製品でなければ普及はむずかしい。また、芸術性を高めても高額になりすぎるような気がする。金沢箔のような手頃な値段で楽しめる工芸に力を入れてほしい。
そう言えば、あまり触れる機会がないと、あらためて感じました。
割安で買いに行きやすい所で販売してほしいです。
まず金沢市民が金沢の工芸に触れる機会がとても少ない。身近に体験できる施設があるのかや後継者を育てているのかもわからない。体験したいと思っているが敷居が高く感じられ、金沢市民が気軽に行けるようには思えない。観光客相手ばかりではなく、後継者を育てる意味でも金沢市民に広く体験できるような取り組みが必要ではないか。
普段使いしやすく、お値段もお手軽だと毎日使えるかなと思います。
郊外の施設で、気軽に立ち寄れるギャラリーがあると有り難い。街中は観光客が多くて混雑しているのです。
伝統工芸は衰退の一途をたどっていると思いますが、需要拡大や後継者確保のためにも、市民が工芸品に触れる機会がもっとあったらいいと思います。
本物は値が張るものなので、買って普段使いすることがなかなか難しかったりする。子どもたちと一緒に、金沢の工芸品に触れたり見たりすることができる機会はとても貴重だと感じる。
あまり日常的に身近に感じる存在ではないと思います。
金沢以外にも県内には有名な工芸品とそのイベントがありますので、相互に協力することで新たな気付きや発信ができると思います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。